



**地域みんなの
赤崎小学校**

赤崎小学校に開田十夢君と谷口絢暉君の二名が入学してきました。少子化社会の中で赤崎小学校においても大きな期待を背負った新一年生です。

また、地域にとつても学校以上の希望と期待があると思います。来賓・保護者・学校関係者の見守る中で二人とも緊張気味でしたが立派な入学式の主役になってくれました。少人数とはいえ、一生に一度の経験になります。

多人数の入学式よりも少ない人数での式が緊張がもたらに伝わってきました。

入学式もそうですが地区民全員と全校児童と共に一人ひとりが目のとどく所から見守りつついていけることと思います。

老人会の祝福をうけての記念写真に納まる新一年生です。

一言

千拓周辺をジョギングしていると、この季節桜の移り変わりを楽しむことができる。つばみがだんだん膨らみ、暖かくなると一気に咲きはじめ、あつという間に満開だ。一番眺めのいい、走るにもウキウキな状態になる。そうして今度は花びらの舞い散る中を走ると、そこではもうドラマの中の主人公になってしまふ。あなたもこの春、千拓でのドラマの気分を体験してみませんか？人と会った「こんにちは」その一言で相手も、また自分も少し気持ちよくなり、笑顔に変わる。返事が返ってこなくても、挨拶するのが恥ずかしいからなんだと思えばいい。

先月、初めて「たねがしまロケットマラソン」に参加した。42キロ走りながら、沿道のおばちゃん達に手を振って応え、走る喜びを楽しみ、満喫してきた。おまけに2位の桶まで頂いた。

あなたもこの春はじめて「笑顔のジョギング」を。

倉本健一（小津奈木）



「重盤岩眼鏡橋」

津奈木中2年（現3年）

大津貞子



「真昼の体育館」

津奈木小6年（現津奈木中1年）

大塚俊平

子ども美術館 (31)

（十六年度文化協会奨励賞作品）

平成17年度津奈木町 町民体育祭種目 日程一覧表

大会名	開催期日
男子ソフトボール大会	5月15日（日）
女子ミニバレーボール大会	〃
野球大会	8月13・14日（土・日）
競舟大会	8月15日（月）
陸上競技大会	10月9日（日）

「三倍增」

図書貸出冊数

年々利用が増加していましたが、平成十六年度の貸出冊数が、昨年度の約三倍と大幅に増えました。利用者の九割が、小学生以下の子ども達です。子どもの活字離れが叫ばれている中、この数字は、すばらしいと感じます。津奈木町の子ども達も、もともと本を好きになり、豊かな心が育つよう工夫していきたいと思えます。館内には、赤ちゃんとお母さんのためのブックスタートにおすすめの絵本も揃えています。一般書もありですので、どうぞ、お気軽におこし下さい。

生涯学習フェスタ 展示部門・ステージ発表

一年間に亘って学習してこられた学習の成果を発表する機会である「生涯学習フェスティバル」が開催されました。

十六年度の町民講座は絵画・健康ダンス・リフォーム・韓国語・大正琴の五講座でした。（受講生八十三名）

十七年度は大正琴が自主講座になり新しく「健康太極拳教室」が町民講座になります。自主講座は囲碁同好会を含めて十三講座で熱心に学習されています。約二百名以上の会員が学習されています。あけぼのの大学などを含めると相当



「韓国語」講座



津小「舞鶴城物語」劇

数の方々が「生涯学習」を楽しんでおられます。

お知らせコーナー

5月行事（予定）

- 開講式（あけぼの大学）
- 13日（金）津奈木校区
- 18日（水）赤崎校区
- 20日（金）平国校区
- 町民体育祭
- 15日（日）男子ソフトボール大会
- 女子ミニバレー
- ※5月から生涯学習の講座が開講されます。

6月行事（予定）

- 8日（金）映画鑑賞会（あけぼの大学）
- 10日（水）〃（赤崎校区）
- 29日（水）聖徳講法（平国校区）
- 2日（日）修学旅行（町内三小合同）
- 20・21日（日）集団宿泊（〃）

編集後記

新年度を迎え編集委員一同、気持ちを新たに編集に取り組みたいと思っています。

楽しい話題・出来事等をお寄せ下されば取材にまいります。

お詫び

三月号記事の「ここに、こんな人」で平松昭子さんの民生・児童委員在任期間三十四年間を「二十四年間」に訂正します。

前列目右から
福山 加奈子 庁務員
白坂 有里 事務職員
鶴山 弘子 教頭
船崎 壽夫 校長
白石 健二 教務主任担当
徳尾 恵里子 養護教諭

後列目右から
坂元 伸吾 六年担任
志水 香織 ひまわり担任
橋口 万里子 五年担任
今脇 三仁 三・四年担任
長濱 妃代 二年担任
一藤 清美 一年担任



水俣第一小学校から転任して参りました。赤崎小は十四年ぶりですが、学校周辺や広域農道から眺める景色の壮大さに、思わず歓声をあげる日々です。このすばらしい環境の中で、自然を科学する心の芽を、子ども達と一緒に育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

赤崎小教諭 前田 成美

こんにちは。この度の異動で水俣二小から来た橋口万里子です。初めて平国小へ来た時に農免道路からきらきら輝く海が見え、「おう。」と思わず声を上げました。それになんと学校からも海が見え、幸せな気分が毎日すごしています。わからない事だらけですが、子ども達のため精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

平国小教諭 橋口 万里子

水俣市立袋小学校から参りました。平国小の眼下に広がる青々とした海の美しさに感動しています。今年は「校長一年生」の記念すべき一年とも重なり、身の引き締まる思いです。そんな大事な年をこのような素晴らしい環境の中で迎えられることを大変喜んでいきます。この一年、職員・児童・地域の方々々と手を携えて頑張りたいと思います。

平国小校長 船崎 壽夫

イチゴの里横島町の横島小学校から参りました。きれいな海の近くで、豊かな自然と触れ合いながら、平国の子ども達と過ごすことをとても幸せに感じています。地域の方も温かく迎えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。子どもと共に日々成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

平国小教諭 坂元 伸吾

前列目右から
浪崎 智哉 一年副担任
宮崎 卓也 二年二組担任
吉田 稔 三年一組担任
福島 英士郎 教頭
荒木 由紀子 校長
中村 公子 二年一組担任
道上 智 三年主任
岩本 邦子 津南学級
柴田 夏子 事務職員

後列目右から
杉本 健一 教務主任
上野 純子 養護教諭
下田 晶子 一年二組担任
吉田 利也 二年主任
澤井 静代 心の教室相談員
荒川 美津子 庁務員
洲上 竜一 一年一組担任
伊藤 貴美子 三年二組担任
村山 裕美 三年副担任



二列目右から
中川 純子 事務
宮崎 彩 養士
森永 佳代 三の一
小崎 富美 養護
吉永 敏昭 一の一

三列目右から
千々岩 みどり 五の二
上村 みゆき すみれ
緒方 利恵子 二の一
宇田津 正樹 六の一
梅田 卓治 二の二
釜賀 善大 四の一

四列目右から
村上 昭子 庁務員
平川 公德 教頭



赤崎小学校から、転任して参りました。すばらしい環境の津奈木町で引き続き勤務できることを嬉しく思います。子どもたちの為に精一杯、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

津奈木小教諭 岩本 公子

一年ぶりに教職に復帰することになりました。二人の息子をもつ二十八歳です。津奈木町に勤務するのは初めてで、これからの多くのひととの出逢いを楽しみにしています。子ども達と過ごす時間を大切にして、楽しい学校生活を送りたいと思います。精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

津奈木小教諭 杉本 健治

子ども達の純朴さと、その子ども達を取り囲む町の

水俣一小から転任してきました。浜分校という医療センター内にある教室で病気、ケガの子どもたちと勉強してきましたので、五年ぶりに担任をすることになりました。二十四年ぶりにこの津奈木町で子どもたちと向き合えるのを楽しみにやってきました。年はとりましたが、元氣よく走り回りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

津奈木小教諭 福田 啓二

小に転動してきました。三年間、水俣第一小でたくさんのお話を聞きました。津奈木小でも、心のこもったあいさつ、人の話を心で聞く、みんなと喜び合う教育を精進こめてやっていきたいと思っています。伝統文化あふれる地域に、人情の篤い交流があることを期待しています。どうぞよろしくお願いします。

津奈木小教諭 工 亜矢

前列目右から
前田 成美 三・四年担任
平野 洋美 一・二年担任
江上 留美子 養護教諭
坂口 さきみ 庁務員

後列目右から
仁禮 裕明 教頭
田中 豊志 校長
清永 智文 五・六年担任





津奈木中教諭
福島英士郎

三井グリーンランドがある荒尾から来ました。津奈木中学校の横に引越して来ました。津奈木は、彫像・温泉・人情豊かな素晴らしい町だと感銘を受けました。

今後、子ども達が将来に對して夢や希望を持ち、豊かに生きて行ける力を育成するために、子ども達のよさや個性を認め、ほめ、励まし、伸ばす教育を実践する決意でいます。皆様のご指導、ご助言よろしく願います。



津奈木中教諭
中村 公子

はじめまして!! 久しぶりの担任をはじめとして、新しい出会いを大切にしながら、つながりを作っていきたいと思えます。オットト。水俣から通います。音楽と家庭科担当。二の二担任の中村公子です。ピチピチの中学生から若さと元気をもらって、私は「年の功」をあげて、



津奈木中教諭
岩本 邦子

水俣市立葛渡中学校から赴任してきました。津奈木町は初めてです。で、新しい町、学校、人との出会いにワクワクしています。子どもたちの成長の助けができるように頑張りたいと思います。



津奈木中教諭
道上 智新

水俣第二中学校から参りました道上です。さまざまな行事で出会う津奈木中の生徒さんたちは、いつも元気で活気あふれており、以前から津奈木町で教育活動に携わりたいと希望しておりました。本町は母の実家でもありますが、まだまだ知らない



津奈木中教諭
宮崎 卓也

かなり昔のことになりましたが、重盤岩から見る景色がすばらしいと聞いたことがありました。あるとき、行ってみようかと思いつき、登ってみると正しく眺望値千金、すばらしい津奈木の風景が開けていました。



津奈木中教諭
吉田 裕

津奈木町のみなさん、はじめまして!! このたび田浦中学校から津奈木中学校へ赴任してきました吉田裕と申します。今年で教職生活も十四年目になります。これまでの経験を生かし、津奈木中学校の発展のために全力を尽くしたいと思います。よろしく願います。



津奈木中教諭
浪崎 智哉

二年ぶりに津奈木に帰って参りました。以前と変わらぬ美しい自然と、子どもたちの明るさに元氣付けられています。



津奈木中事務職員
柴田 夏子

天草の牛深より赴任して参りました事務職員の柴田です。初めて津奈木中学校を訪れた時は緑や花に囲まれた素敵な学校だなあと印象を受けました。少しでも早く学校や地域に慣れ、子ども達や先生方のお役に立てるように精一杯頑張りますのでどうぞよろしく願います。



この本は、日本人と黒人との間に生まれたラフラという人の話です。ラフラとは「重荷を背負って歩く」という意味があり、この本を読むにつれ、この意味を改めて実感しました。彼は、日本人と黒人との間に生まれたため、黒人と日本人両方に差別や偏見をされていましたが、彼の母が勇気を与えてくれたので、それを克服することができました。それ以来、差別や偏見をさなくなりました。

読書感想文

「ラフラ、二十四歳の遺言」を読んで

津奈木中三年 長濱 正洋

また、この本の著者は彼のヒップホップのアーティスト名 A.Wideについてこう述べています。「彼がアメリカ人と日本人との間に生まれた混血で、‘ハイフ’ではなく‘ダブル’という意味で名付けた。彼の自分では二分の一ではなく、二倍なんだという強い思いが伝わってきました。僕も今まで、年上の人や仲の良い人には、思ったことや文句などは言わず、年下やおとなしい人には、相手が傷つくような事を平気で言っていました。このラフラという人の思いを知り、自分自身の事を反省しました。これからは、このような態度を改め、人の気持ちを大切にしたいと思っています。そして、差別や偏見で悲しむ人がなくなればいいと思います。

二人あわせて十五段

岡本安夫さん(74) ツヤ子さん(64) 岡本安夫さんは四半的弓を始め九半、奥さんのツヤさんは七半と、ご夫婦で共通の趣味を持つておられます。



自作の矢筒

で練習をしておられます。県内での大会は年間三十回程あり、団体戦・個人戦で上位入賞は度々あります。開催地の特色ある賞品をいただいで嬉しかったので、地元で開催された大会の折りに、岡本さん自身が作った「置物」の賞品が好評でした。それ以来「矢筒」・「花瓶台」などの置物や「竹箒」を作り、副賞として提供され、たいへん喜んで貰っておられるとのことでした。



二人仲良く

「矢筒」を見せてもらいましたが、矢が二本入り羽根がいたまじいように、太くつくり、筒は竹の節をくり抜いて約一・五米程に仕上げ、蓋には紐がつき、油抜きした後に、きれいに着色されて、職人も顔負けだと思います。注目の予約があるが、間に合わせる事ができないと笑っておられました。

(石田記)

随筆



当たり前のことを

荒木由紀子 (津中校長)

「少年の船」の参加者受付をした時のことである。荷物を持ってきているのはほとんどが親であり、子どもは手ぶらでやってくる。受付に親子が並ぶ。「学校名とお名前をお願いします。」と尋ねると、「〇〇小学校、△△です。」と親が答える。子どもの顔を見てもう一度尋ねる。親は怪訝そうにして、また同じように答える。数回繰り返したあと、こちらの意図がわかったのか、子どもが初めて口をきく。やっと受付は終わりである。自分が使う荷物である。子どもにとっては少々きつ

百ます計算で有名な陰山英男先生の著書「学力は家庭で伸びる」を読んだ。その中には「時間割は自分でそろえさせる」、「宿題を親がやらない」、「壁にぶつか

当然のことであった。今、その当たり前のことを子ども達にできていないように思う。陰山先生は「学力の根本は生命力」、「学力向上の秘訣は家庭での生活習慣

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会

なごり雪舞ふ日の午後を炊く母
甘き香は部屋にこもれり
寺本ツルヲ

青本ツルヲ

蒼空に白木蓮は咲き盛る
冬耐しもの皆美しき
加来 道子

加来 道子

なく声のいまだ幼き鶯の
声かけたれば返辞か返る
西川 ムキ

西川 ムキ

たずね来し乙女はルンダに学校を
立つる資金ひたすらに乞ふ
西 滋子

西 滋子

元旦に活けたるままの梅の花
卯月の今もほのかに匂う
白浜美和子

白浜美和子

亡き父の形見となりし巨大杉
雪を被りて冬空を抜く
福田八重子

福田八重子

去年の夏植え返えしまま忘れし
蘭はひそかに紅の花もつ
野田 淳子

野田 淳子

〔次回の笠〕
〇やりにくさ 〇相合傘
一笠一句を 六月八日(休)迄
津奈木町教育委員会まで